

105-328

問題文

86歳男性。脳梗塞のため在宅療養中である。薬剤師が訪問した際、仙骨部に褥瘡があることがわかった。褥瘡の状態は、滲出液を伴う赤色肉芽(赤色期)が主で、壊死組織(黄色期)はわずかであった。薬剤師が医師に処方提案する医薬品として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 酸化亜鉛軟膏
2. スルファジアジン銀クリーム
3. 精製白糖・ボビドンヨード配合軟膏
4. アルプロスタジルアルファデクス軟膏
5. ジメチルイソプロピルアズレン軟膏

解答

3

解説

選択肢 1,5 ですが

これらの軟膏は、創面保護、抗炎症などを期待して、褥瘡の初期に用います。具体的には「仙骨の発赤が見られる」といった段階で用います。また液の吸収をする軟膏ではありません。よって、選択肢 1,5 は誤りです。(類題)

選択肢 2 ですが

スルファジアジン銀クリームは、壊死ありの場合に、クリームを用いつつ壊死部分除去を行います。壊死組織がわずかなため、選択肢 2 は不適切と考えられます。(類題)

選択肢 3 は妥当な記述です。

浸出液吸収が期待されます。

選択肢 4 ですが

肉芽形成開始時において、上皮再生を促すねらいで使用します。既に肉芽が主なので不適切と考えられます。(類題)

以上より、正解は 3 です。